

# 在宅で看取りってどうなん？ 「痛くない死に方」上映会&在宅医講演会

無料市民  
イベント



お申し込み



お問い合わせ

主催：PCPセンター  
後援：大東市  
大東市教育委員会  
助成：公益財団法人  
在宅医療助成  
優美記念財団

人間を好きになれ

第23回  
上海国際映画祭  
正式招待作品

監督・脚本：高橋伴明  
原作：長尾和宏  
在宅医と患者と家族の物語

痛くない死に方

日時：2024年2月23日(金・祝)  
13:00開場 13:30開演 16:30終了

場所：大東市立市民会館キラリエホール  
定員：100名(先着順)  
対象：終末期や在宅医療に関心のある方どなたでも

～プログラム～

「痛くない死に方」上映会

\*

癒やしのミニ演奏会

クロマチックハーモニカ：氏原 茂 氏  
ピアノ：杉村 孝彰 氏

\*

在宅医講演会

安川クリニック 院長：安川 十郎 先生

司会  
周藤ゆう

大東市立市民会館  
キラリエホール  
大阪府大東市曙町4-6  
無料駐車場あり(50台)



※R25日軒在通駅(下車)徒歩10分 ※近鉄バス(大東市役所前)下車すぐ

# 痛くない死に方

終末の伴走者と、どう出会い、関われるのか...  
 「病院」だって「在宅」だって、それを動かすのは、人病という対象物としてだけでなく、人が人を取るといわれる時、何を最も大切にしたいのか？そこを見据えていければ、最期まで、その人らしく生きることができると、この映画は囁いてくれる。  
 内田也哉子(エッセイスト)

「病院」か「在宅」か  
 この映画は在宅医と患者と家族の物語である。

**INTRODUCTION** 「病院」か「在宅」か。在宅医療のスペシャリスト・長尾和宏の著書「痛くない死に方」「痛い在宅医」をモチーフに高橋伴明監督が完全映画化。主演に柄本佑、共演に坂井真紀、余貴美子、大谷直子、宇崎竜童、奥田瑛二等豪華俳優陣で贈る、在宅医と患者と家族の物語。



**STORY** 在宅医の河田は末期がん患者を担当することに。娘の智美の意向で病院での延命治療ではなく「痛くない在宅医」を選択したが、結局苦しみ続け亡くなってしまふ。自分の選択を責める智美の姿が胸に突き刺さる河田。在宅医の先輩である長野に相談した河田は、更に悔恨の念に苛まれることになる。その後長野の元で在宅医としてあるべき姿を模索する河田。大病院の専門医と在宅医の決定的な違いは何か、そして患者の「人生」を見て寄り添う姿を学んでいく。



「健康寿命が長い」  
 「平均寿命と健康寿命の差が少ない」  
 ことを誇れる地域にするのが私の夢です。



## 院長 安川 十郎 氏

### ●経歴●

- 平成7年 奈良県立医科大学卒業 第一外科入局
- 平成17年 退局 町医者に
- 令和2年 安川クリニック開業

## 安川クリニックの3つのコンセプト

- 人を診る医療
- 在宅医療を支援
- ミニマルケアを提唱

特定の専門分野はありません。風邪・花粉症・捻挫・喘息・糖尿病・不眠症・認知症・心不全・末期がんまで、あらゆる疾患に対して、専門医と連携しながら、かかりつけ医として診察します。

訪問診療を行うことで、通院が難しい場合でも自宅で診察を続けられます病気を治すことだけでなく、一人の人間としてどのように過ごしたいのかを話し合います。



薬や検査が多すぎると感じたことはありませんか。治療は義務ではありません。医学的な利益・不利益を知った上で“自分が納得できる治療・検査を選んで受ける”という患者本人の意思を尊重します。



1949年大阪生まれ。1993年ジャズ・クロマチックハーモニカ奏者の徳永延生氏に師事。2004年から3年連続世界ハーモニカ連盟日本コンテストにて、クロマチック・ソロ部門第2位。現在は各地の病院や福祉施設等で演奏活動を行っています。



## ピアノ 杉村 孝彰 氏

若年性認知症支援の会 愛都の会実行委員



オレンジ倶楽部(認知症カフェ)に支援者として参加された杉村さん。そこで氏原さんのクロマチックハーモニカを聴いてセッションが始まりました。ピアノ歴は長く、色んなバンドに所属してライブ活動をしてこられました。今は作業療法士として障害児支援のお仕事の合間に音楽活動をされています。

お二人の共演▶



**Episode**  
 近所の方が亡くなられて行ったお葬式に現れた氏原さん。おもむろに取り出したハーモニカで吹いてくれたアメージング・グレースに感動!

クロマチック  
 ハーモニカ  
 氏原 茂 氏

●主催者●  
 PCPセンター  
 代表 マキブ

認知症を題材とした  
 コメディ小説  
 連載中

amazon  
 kindle  
 storeにて  
 発売中



2014年 祖父を自宅で看取る  
 2017年 在宅看取りの手記を出版  
 個人事業主としてPCPセンターを設立  
 終末期医療関連の企画をゆるっと行う

## Person Centerd Planning (PCP)

【本人を中心に据えた計画】

パーソン・センタード・プランニングとは、元々アメリカで提唱された知的障害者と認知症支援のメソッドで、障害があっても本人の望みを最大限に尊重した支援を計画するというものです。意思疎通が困難であっても、様々な専門技法を用いて表出された本人の行動から選好を見極めたりします。

障害があってもなくても、全ての人が死ぬまで自分の望む人生を生きられるようにという想いを事業所名に込めました。

【理念】自身の可能性に挑戦する人が  
 希望を持って活動できる未来を創造します